

Pope Violet

ベテランオーナーが日常を安心してクルーズするクラシック

USシーンの中でクラシックの王道でもあるシボレーのインパ
ラ。00年代から日本でもロ・ライダ が爆発的に人気を得たこ
とで、かなり多くの個体が日本にも存在しているものの、近年は
値段の高騰もあってなかなかコンディションの良い個体に巡り合
う機会も激減。ある程度コンディションを妥協したとしても、安
心して乗れるように整えるには、それ相応の経験と実績のある
ショップと出会えなければ、到底乗りこなすは出来ないのがクラ
シックの常。

この1960年インバラもまた、決して悪まれたコンディショ
ンではなかったものの、普通に通いでも乗れることを前提に必要箇
所をアップデート。実はオーナーは長年ロ・ライダ を乗り継ぐ
ベテランで、ご息もフレームオフから製作したというショーコ
ンディションのインバラを所有するというファミリー揃ってロ・
ライダ との縁が深い。

原車庫では人気がある59-60年の羽根モノも、中部エリアで
は少数派。Kustomテイストのロ・ライダ が多い点検では、
OG系のロ・ライダは結構珍しい存在ながら、独自のテイスト
をしっかりと投入している。

ベースの購入時は不安要素が多く、機関系のアップデートは配
線すべての入れ替えからスタート。これはキットが存在するイン
バラとはいえ、やはりその作業はかなりの努力とスキルを要
するもの。インバラに限らず、クラシックも積極的に扱う Croce
Clubがトータルで担当し、Ididitのステアリングコラムへのチェ
ンジほか、冷却系のレストアなどを経て、いつも安心してクル
ーズできるインバラへと仕立て上げた。

この車は表現されていないが、実はマフラーエンドには
アイヤーフレイムのシステムがセットされていて、夜のナイト
クルーズでもその威力を発揮している。

text & photographs by WARDSTREET PHOTOGRAPHY
www.wardstreetphoto.com www.popecar.jp 03-66-38-7700
cover 190-11402015

1960 CHEVROLET IMPALA

SURCHONTHIA
高橋自動車商会
自営業専門
100
100

KEBAB
TAKE OUT
\$500



インテリアもオリジナルパーツのキットで張り替え済み。ベース車両の購入時は決してコンディションが良いとはいえない状態だったものの、車検をインテリアを重点的にアップグレードすることで、見た目も入念に仕上がっている。

1960 CHEVROLET IMPALA



Dope Violet



この時代のシボレー用アップグレードアイテムは数多ク存在する。その中でも比較的安定したクオリティを誇るプログラムで、国内では数多く流通しているアイテムのひとつ。常に後継する部分だけに、エアアダプターの取り付けの際に、車検・DOT制は車検で2つのみのほか、ブレーキやサスペンションなどの部品は、国内では数多く流通しているアイテムは小径タイプにチェンジすることで、より自然なステアリングフィールを得る。



デュアルのブレーキマスターシリンダーにアップグレードほか、エンジンベイにはカスタムが施されているような部分が多いものの、最終調整は全て車検対応のプログラムに準拠して行われる。また、エンジンオイルは小径タイプにチェンジすることで、より自然なステアリングフィールを得る。



ハイドロコは2P4Bともなるシンプルな仕様で、90年代後半からより積極的に採用されることになってきたサットサイトのシステムを駆使。



オーダーのYS024はすでに5000のクワラン、ロー3イターを数台乗り継ぎ、1年ほど前にGRACE CABにてこの60年を購入。なんと息子さんはすでにフレームオフから製作したクワランを所有しているという話も入る。